

沖縄の地域資源の活用・沖縄生まれのおすすめ商品

沖縄の花

ハイビスカスを使った飲料を開発

ハイビスカス飲料

活用した地域資源

ハイビスカス

事業概要

ハイビスカスは近年化粧品原料やハーブティーとしても注目を浴びているが沖縄では日常的に咲いている花。琉球食彩は県産ハイビスカスにこだわり、飲料や食品の開発に取り組み、濃縮エキスのリキットタイプを開発し、認定を受け展開中。今後モストレートで飲める飲料やジャム等で事業拡大を狙う。



株式会社 琉球食彩
代表取締役社長 伊良部峰雄さん

生産者インタビュー

今回地域資源活用プログラムで

開発中の商品はどのようなものですか？

主力商品は沖縄の代表的な花、ハイビスカスを活用した清涼飲料水なんですけど、そもそもハイビスカスの商品自体まだ認知度が低いと思っています。今回ハイビスカスを使った商品をもっと知ってもらおうと清涼飲料水を開発しました。また、現在ハイビスカスティ等ハイビスカスをつかった商品もありますがほとんどが中国産など国外で生産されるものを使用した商品です。その点、弊社は沖縄産ハイビスカスにこだわり開発しました。

現在は業務用としてホテルやレストラン、バーで使用出来るようなリキットタイプが先行して出ています。ホテルでのウエルカムドリンクやレストランでの飲み物、またカクテルのベースに使われています。ハイビスカス独特のあの鮮やかな赤色と甘酸っぱい味が女性に評判がいいんですよ。

なぜハイビスカスに

こだわったのですか？

もともと、私が流通業に関わってまして、そ



運命の赤い糸 500ml

の頃から県産品にこだわった商品をつくりたいという気持ちがありました。また、沖縄にはこんなに魅力的な素材が沢山あるのに、県内産の素材を使った商品が少ないとも感じていました。そこで、まずは沖縄のイメージとしてあるハイビスカスに着目しました。

県産ハイビスカス100%と

ありますが開発に苦労された事は

ありますか？

商品としてのハイビスカスの栽培から始めました。県内では南城市で約2000坪に植え付けをします。宮古島にもファームがあり収穫できるようになっています。原材料からつくるのは一定の品質や量を確保するためでした。ハイビスカスは普段家の垣根等のために植えていて商業ベースでの生産がなかったんですが、弊社は自ら畑を耕し収穫もやっています。現在、生産しているリキットタイプ(1000ml)には100個の花のエキスが入っています。それくらい入れないとこの赤い色が出ないんです。また5倍に薄めた時に鮮やかな赤色になるよう調整しました。今、一日2人で収穫しても花は3000個ぐらいです。3000個だと実際に商品は30本でしたが、現在は農家さんと契約し量産体制がとれる様になりました。



業務用5倍希釈タイプ 1000ml

株式会社 琉球食彩
〒903-0801 沖縄県那覇市首里末吉町1-95
TEL 098-894-3255 FAX 098-894-3260

て、ハイビスカスをテーマにした清涼飲料水だけではなく、ジャムやソース、ドレッシングまた他社とのコラボレーションでスイーツ等。弊社ができない分野であるリキュールなども共同で開発していきたいと思っています。

今秋にはストリートタイプのハイビスカス飲料も発売予定。パッケージにも凝った、沖縄の新商品が話題になる日も近い。

これからも
ハイビスカスに
こだわった

商品を開発する
予定ですか？

そうですね、私達の会社は琉球食彩ということで沖縄の食材にこだわった商品を、これからも開発していきたいと思っています。先にも話したように第一弾は沖縄のイメージとし